

無線会話パート

登場人物

Pilot A

比較的冷静。TANIYAMAを先に目視し、その正体を知っているような反応を見せる。

Pilot B

最初に異変を察知する。TANIYAMAの正体は分かっておらず、徐々に状況の異常さを理解していく。

※全体を通して、映画的に大げさに演じすぎず、実際の無線交信を意識した自然で抑えめの演技を希望します。

※終盤に向かって徐々に緊迫感を高めてください。

■ 前半

【日常会話】

A(リラックスした口調)

Long shift today.

→ 今日は長い任務だな。

B

Yeah. Sky's clear, though.

→ ああ。でも空は晴れてる。

A

I'll take clear skies over storms any day.

→ 嵐よりは晴れの方がいい。

B

Boring is good.

→ 退屈なくらいがちょうどいい。

【最初の違和感】

B(何かに気づく)

You hear that?

→ 今の、聞こえたか？

A

Hear what?

→ 何を？

B(少し間を置いて)

Exactly.

→ そこなんだ。

A

The wind noise just stopped.

→ 風の音が消えた。

【空の異常】

B

Radar's clean.

→ レーダーには何も映っていない。

A

Too clean.

→ 綺麗すぎる。

B

No civilian traffic.

→ 民間機の交信もない。

A

That's unusual.

→ おかしいな。

【接近の気配】

B(何かを捉える)

Picking up something.

Very faint.

→ 何かを捉えた。かなり微弱だ。

A

I don't see it.

→ こっちには見えない。

B

It's moving fast.

→ 速い。かなり速い。

A

That speed doesn't make sense.

→ あの速度はありえない。

【TANIYAMA発見】

A(目視する。低く、驚きよりも「出会ってしまった」という口調)

I have visual.

→ 目視した。

(間)

A(独り言のように)

That's... TANIYAMA.

→ あれは.....TANIYAMAだ。

B(聞き返す)

Say again?

→ もう一度言ってくれ。

A(今度ははっきりと)

TANIYAMA!

→ TANIYAMAだ!

■ 後半

【応戦準備】

A(緊迫感が高まる)

Contact confirmed.

→ 目標を確認した。

B

Locking on.

→ ロックオンする。

A

Weapons free.

→ 攻撃を許可する。

B

Target locked.

→ 目標をロックした。

【応戦】

B

Missile away.

→ ミサイル発射。

A(着弾を確認)

No effect.

→ 効果なし。

B

Firing again.

→ 再発射する。

A

Still nothing.

→ まだ効いていない。

【歯が立たない】

B(困惑)

It's not reacting.

→ 反応がない。

A(急激な接近を察知)

It's right on top of us!

→ すぐそこまで来ている！

B(警告音が鳴り始める)

Systems unstable!

→ システムが不安定だ！

A

Warning!

→ 警告！

B

Emergency!

→ 緊急事態だ！

【脱出判断】

A

We can't stop it!

→ もう止められない！

B

We have to eject!

→ 脱出するしかない！

A

Eject!

→ 脱出しろ！

B

Eject now!

→ 今すぐ脱出しろ！

【墜落～爆発】

A(激しい通信ノイズ。言葉が途中で途切れる)

I'm losing—

→ 制御を失う——

B

…control!

→ ——コントロールを！

(通信途絶)

(戦闘機墜落)

(爆発)

END